

## 橋の銘板の書道コンクール

市内上村田地内の玉川に架かる額山橋は、常陸大宮土木事務所へ建設費の一部を市が負担し、現在、4月の竣工に向けて架け替え工事を進めています。

架け替えにあたって、学区内にある村田小学校の児童に、橋の銘板に使用する文字の作成をお願いしたところ、たくさんのお願いでいただきました。

厳正な選考の結果、4人の作品が選ばれ、3月2日、市長から表彰及び記念品を贈りました。

4人の作品は、新しい橋の親柱に取り付けられることとなります。



選ばれた皆さん（写真左から）  
村田小学校 3年 生田目 忍さん 4年 富山 紗希さん  
5年 小泉佳愛子さん 6年 阿久津 楓さん

**FIRE DEPARTMENT HITACHIOMIYA**  
消防本部（隊） 常陸大宮

第26回

**FDH**  
**119**



## 常陸大宮市で消防職員意見発表会

2月8日、「第30回全国消防職員意見発表茨城県大会」が市文化センターで開催され、県内26消防本部の代表者が「消防防災」をテーマに業務や体験を踏まえた意見を発表しました。

この発表会は、消防職員が日頃の業務における問題等を考察し、これからの消防業務のあるべき姿や職務においての提案や取組み等を発表する場として毎年開かれています。

当市消防本部の木村倫之さんは「オレンジを着る一人として」と題して、救助活動での経験を踏まえ「災害において、全ての住民に消防サービスの提供が重要課題で、オレンジ服の誇りや責任を感じ袖を通す」と話しました。その結果、木村さんは努力賞を獲得しました。

消防防災をテーマに意見や課題を発表する出場者



## 文化財防ぎょ訓練実施



1月28日、西消防署と美和支団及び教育委員会美和事務所による住民参加型の消防訓練を、

市指定文化財（薬師堂山門、薬師如来座像）を有する上桧沢満福寺において実施しました。

今回の訓練は、たき火の火の粉が薬師如来座像の納められた薬師堂に燃え移り延焼拡大の恐れがある、との想定で付近住民の協力により水バケツによる初期消火、重要物持ち出し訓練を行いました。

その後、到着した消防団が消火、延焼防止訓練など実戦さながらの訓練を実施し、最後に天ぷら油による火災実験や煙体験ハウスによる煙体験などにより「火災の恐ろしさ訴えました。

## 高規格救急車更新

高規格救急車は、救急救命士が高度な救命措置などを行うために有効な車内空間等を確保し、必要な救急資機材を積載しており、患者に走行時の振動を与えないよう緩衝装置のついた防振架台等を装備しています。

### 【仕様】

全長 5.67m  
全幅 1.88m  
全高 2.50m  
車両総重量 3,265kg  
乗車定員 7名

